



かびのいいとこわるいいとこ

わるいいとこ編

カビのわるいところ

感染

カビ

病原性

日和見

中毒

カビ毒
毒性

慢性

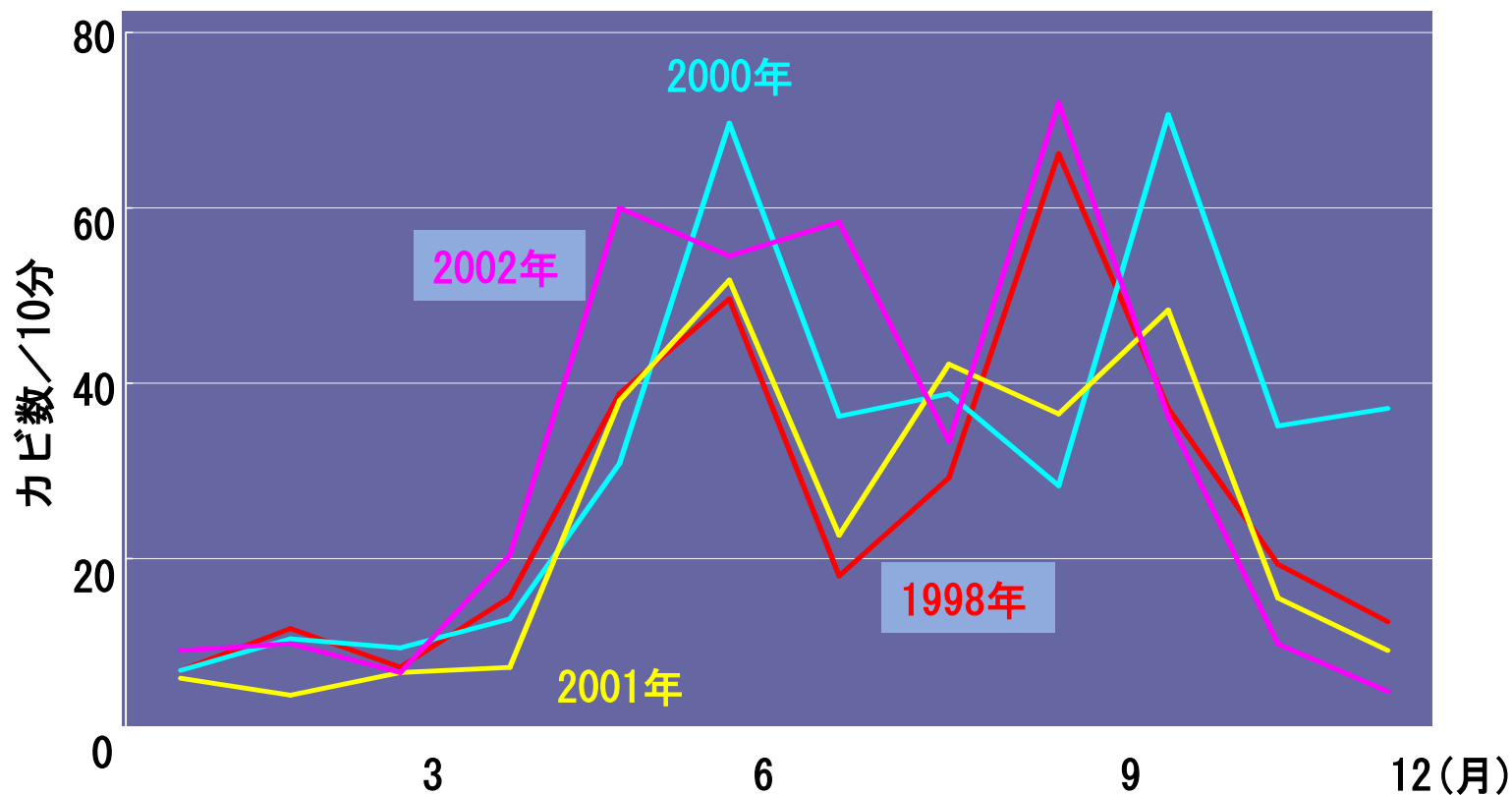
アレルギー

カビ・代謝物

アレルゲン性

免疫異常

大気中のカビ



高鳥 浩介・久米田裕子著「カビから守る」食品衛生協会より引用

➤カビはどこにでもいつでもありますが、大気中のカビは5ー6月、9ー10月に特に多い傾向にあります。

カビアレルギー（過敏性肺炎も）

- ・原因となるカビ：アオカビ、コウジカビ、クロカビ
- ・症状：くしゃみ、鼻水、鼻づまり

過敏性肺炎

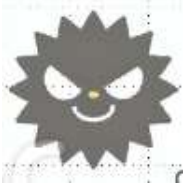
- ・原因となるカビ：トリコスポロン（シロカビ）が多い
- ・症状：発熱、せき、喀痰（かたん）、息切れ

感染症

病原性のあるカビは約 1 %ほど存在します。

ほとんどが呼吸器から感染

ほとんどが日和見感染
(免疫力が落ちたときなど)



クリプトコックス



アスペルギルス



カンジダ

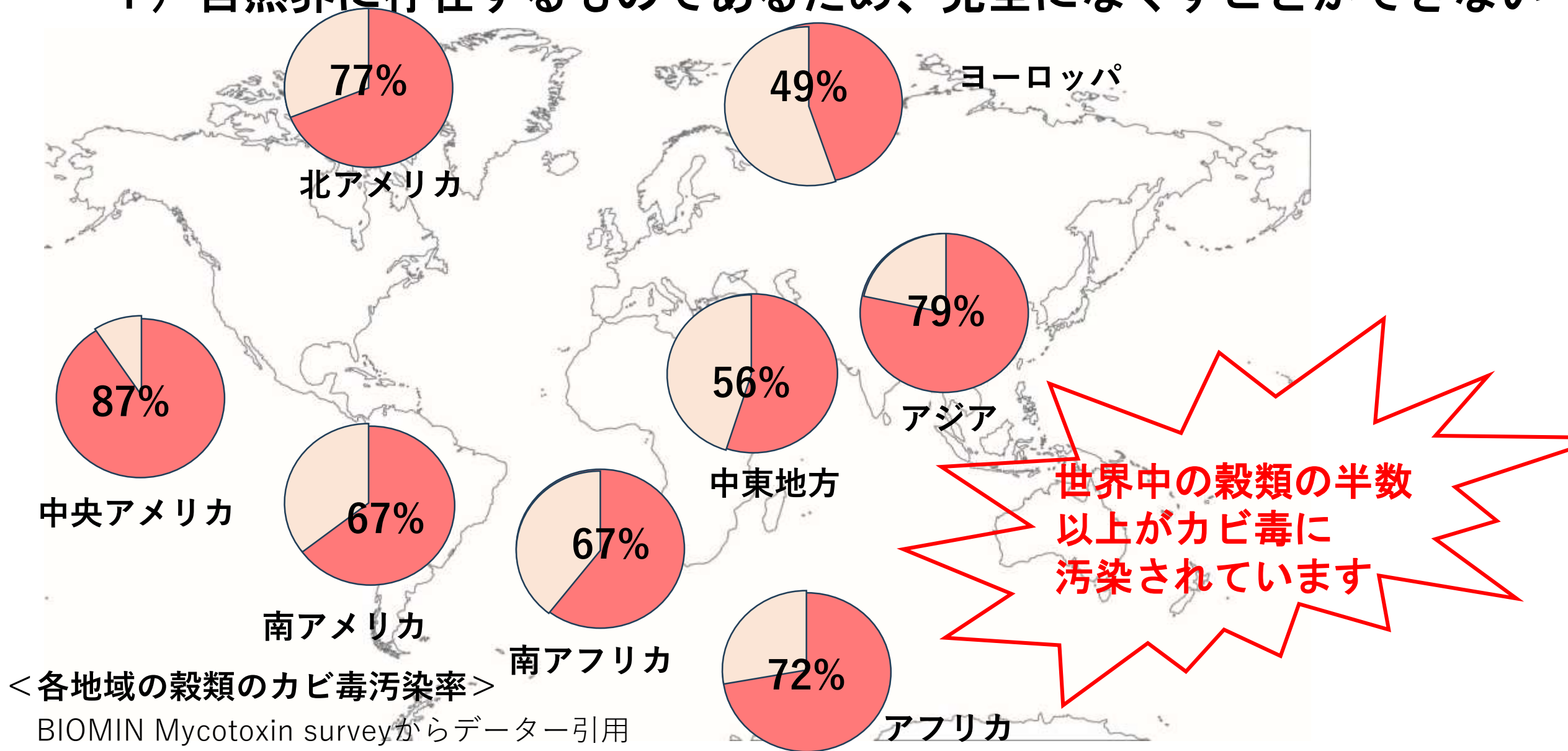


ムコール



中毒（カビ毒）－3つの特徴

1) 自然界に存在するものであるため、完全になくすことができない



2) 低分子で、耐熱性があるため、加工してもカビ毒は減りません

<加工・加熱時のカビ毒減衰率>



加工しても加熱しても
残ります！



デオキシニバレノール

50-100%



デオキシニバレノール

30-50%



総アフラトキシン

84%



アフラトキシンM1

400%

ゼアラレノン

88%

3) 健康被害があります。

<食品を汚染する主なカビ毒>

カビ毒

汚染食品

毎日食べ続けるとがんになる可能性があります

健康被害

総アフラトキシン

ナッツ、穀類、
香辛料、豆類
(全食品に基準値あり)

アフラトキシンM1

牛乳、チーズ
(乳に基準値あり)

デオキシニバレノール

麦類、トウモロコシ
(小麦に基準値あり)

パツリン

リンゴジュース
(リンゴジュースに
基準値あり)

オクラトキシンA

穀類 豆類

肝炎、肝臓ガン

おう吐、下痢、免疫抑制

消化器障害

腎炎、腎臓ガン



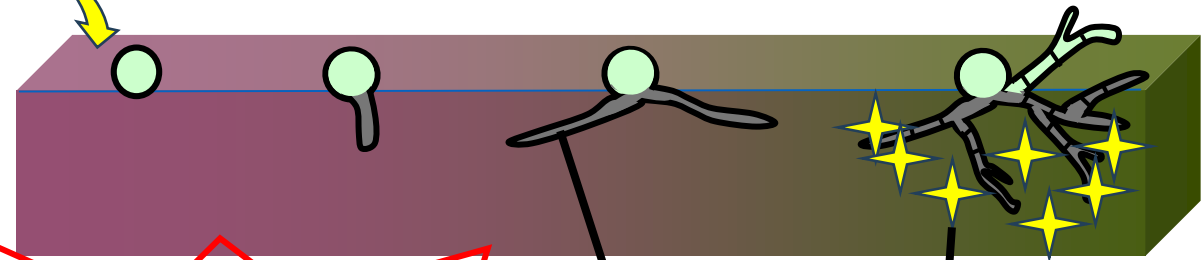
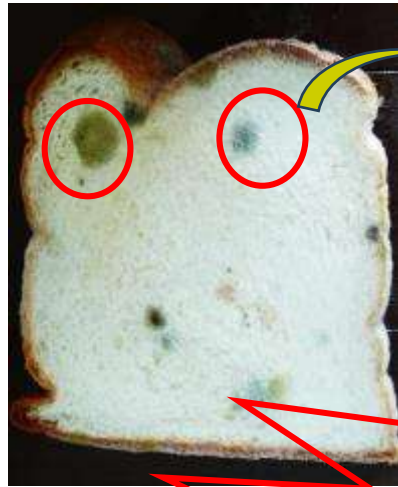
? カビを除いたら食べられる？ (カビ毒のリスク)

? カビはどこまで侵入しているの？

菌糸という根っこをはります

? カビ毒はどこでつくるの？

菌糸から放出されます



カビが生えて
いたらたべない！